東北防衛局

鉄塔改修設計など公告
12、19日まで2件受付

東北防衛局は、仙台外（26）鉄塔改修等建築設計など2件を電子入札方式の一般競争入札で発注するため公告した。申請書及び技術資料の提出期限は9月12日、19日12時まで。入札書の提出は10月8日9時から10月10日15時、10月16日9時から10月20日15時まで。開札は10月16日、22日に行う。

▽仙台地区外（26）局舎改修設備設計
期限　27年3月31日
入札書の提出期間　10月8日9時から10月10日15時まで（電子入札システムにより提出。紙による場合は持参）
入札説明書の交付　10月15日22時まで
開札日時　10月16日13時30分（東北防衛局5階電子入札室）
業務内容　以下に掲げる工事の実施設計を行う。【陸自】①仙台駐屯地◇既設導波管撤去、既設導波管ラダー改修、野外空中線設備更新、航空障害灯更新に係る設備設計　②奥州市地区（東稲山中継所）◇局舎（RC—2約100㎡）改修に伴う既設監視・防犯設備撤去、電灯・幹線設備改修、トイレ改修◇既設空調機撤去設備設計、既設導波管撤去、既設導波管ラダー改修、野外空中線設備更新、雷保護設備改修に係る設備設計　③花巻市地区（拝峠中継所）◇局舎（RC—2約100㎡）改修に伴う既設監視・防犯設備撤去、電灯・幹線設備改修、トイレ改修◇既設空調機撤去設備設計、既設導波管撤去、既設導波管ラダー改修、野外空中線設備更新に係る設備設計　【海自】三戸郡五戸町地区（倉石通信中継所）◇局舎（RC—2約160㎡）改修に伴う既設監視・防犯設備撤去、電灯・幹線設備改修、トイレ改修◇既設空調機撤去設備設計、既設導波管撤去、既設導波管ラダー改修に係る設備設計　【空自】三沢基地◇局舎（RC—2約500㎡）改修に伴う空調機更新、通信設備改修、電気設備改修設備設計◇既設導波管撤去、既設導波管ラダー改修、野外空中線設備更新、航空障害灯更新に係る設備設計

◎参加資格

○装備施設本部長から測量・建設コンサルタント等業務の「電気通信」又は「電気」に係る一般競争参加資格の級別「B」以上の格付を受け、東北防衛局に競争参加を希望していること

○同種業務（元請として建物附帯設備工事に係る設計業務）又は類似業務（建物附帯設備工事に係る設計業務）について、平成16年4月1日から入札公告日までに完了又は引渡しが完了した業務の実績を有すること

○当該業務の基準をすべて満たす技術者を配置できること

○東北防衛局が発注した業務のうち、平成24年度及び平成25年度に完了又は引渡しが完了した業務の実績がある場合には、評定点の平均が65点以上であること

申請書及び技術資料の提出期間　9月12日12時まで
提出場所　担当部局
提出方法　電子入札システムにより提出。申請書及び技術資料が3MBを超える場合の提出方法等については、入札説明書による。紙入札方式による場合は、持参・郵送もしくは託送

▽仙台外（26）鉄塔改修等建築設計
期限　27年12月20日
入札書の提出期間　10月16日9時から10月20日15時まで（電子入札システムにより提出。紙による場合は持参）
入札説明書の交付　10月21日22時まで
開札日時　10月22日9時45分（東北防衛局5階電子入札室）
業務内容　以下に掲げる工事の実施設計を行う。【仙台市地区】◇鉄塔（地上式H約100m）補強（地震応答解析による構造設計及び国土交通大臣認定取得）【五戸町地区（倉石中継所）】◇既存局舎屋上に設置された鉄塔（H約延べ65m、鉄塔部H約55m、局舎軒高約10m）の補強（地震応答解析による構造設計及び国土交通大臣認定取得）◇局舎（RC—2約160㎡）改修（右記検討結果に基づく補強含む）

◎参加資格

○装備施設本部長から測量・建設コンサルタント等業務の「建築」に係る一般競争参加資格の級別「A」の格付を受け、東北防衛局に競争参加を希望していること

○同種業務（高さが60mを超える鉄塔の新設又は改修建築設計業務）又は類似業務（高さが60mを超える建築物の新設又は改修建築設計業務）について、平成16年4月1日から入札公告日までに完了又は引渡しが完了した業務の実績を有すること

○当該業務の基準をすべて満たす技術者を配置できること

○東北防衛局が発注した業務のうち、平成24年度及び平成25年度に完了又は引渡しが完了した業務の実績がある場合には、評定点の平均が65点以上であること

申請書及び技術資料の提出期間　9月19日12時まで
提出場所　担当部局
提出方法　電子入札システムにより提出。申請書及び技術資料が3MBを超える場合の提出方法等については、入札説明書による。紙入札方式による場合は、持参・郵送もしくは託送

▼以上2件
担当部局　東北防衛局総務部契約課（〒983—0842宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3番15号電話022—297—8296FAX022—297—8241　問い合わせはFAXによる）
入札説明書の交付場所　防衛施設建設工事電子入札システムセンター

塗料と塗装資材
鴨沢塗料
☎〇一七八二八—二〇五五

弘前市

佐藤惣JVが落札
堀越城跡三之丸整備

弘前市は9日、史跡堀越城跡三之丸（国道西側）地区整備工事を条件付き一般競争入札で実施した結果、佐藤惣・東北建設工事JVが1億3151万円（消費税別）で落札した。

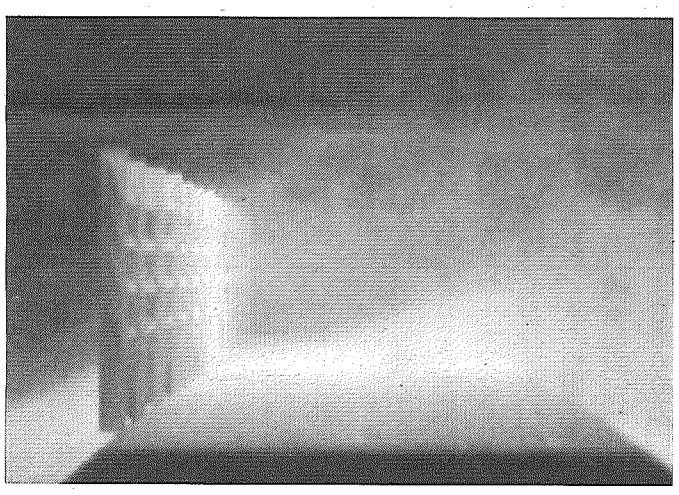
▽平成26年度史跡堀越城跡三之丸（国道西側）地区整備工事
施行地　大字堀越地内
工期　12月25日
佐藤惣・東北建設工事JV
1億3151万円＋税分　決定
参加業者　佐藤惣・東北建設工事JV　クリエイト・永澤建設工事JV
予定価格　1億4203万5120円（消費税込）

併設の雪氷技術研究設備
＝理研興業＝
風洞実験室を一般公開

防風防雪柵のトップメーカーである理研興業(株)（本社・北海道小樽市・柴尾耕三社長）は、同社に併設している雪氷技術研究設備である風洞実験室を一般公開することとした。

雪国における冬期の交通障害の一因である吹き溜まりは、雪の粒子が風により転動・躍動・浮遊しながら移動し、風の弱い場所で剥離し堆積することで生じる。風洞実験は、この吹き溜まりの移動形態を再現できることが最大の特徴であり、試験品による現地観測よりもコストを低減できる。同社では平成元年に風洞実験装置を導入し、様々な製品開発研究や検証実験に活用してきている。

風洞実験で模擬雪として使用されるのは活性白土である。これは表面に微細な孔を有した粉体で石油や油脂の吸着剤として広く用いられているが、その「安息角」（自発的に崩れることなく安定を保つ斜面の最大角度）や、「移動臨界摩擦速度」（粒子が移動を開始する時の摩擦速度）の値は自然雪と相似しており、模擬雪に適している。


風洞可視化実験

平成16年には道立北方建設総合研究所・防災科学技術研究所雪氷防災研究センターの指導により、自然界で大気境界層が影響を受ける地表面の粗度、風速分布、並びにべき指数の値について基本案がとりまとめられた。これらを用いることで高精度の風洞実験を行い、より現実に近い吹き溜まりを再現することが可能となっている。

また昨年には、数値シミュレーション（流体解析）ソフトを導入し、複雑な地形や3次元での風の流れを解析できるようになった。可視化実験結果や堆積実験結果と、数値シミュレーションによる解析結果を融合させることで、吹き溜まりや視程障害の原因調査、あるいは防雪対策が必要な路線へ最適な製品を素早く提案することが可能となった。

同社は今後も更なる研究開発をとりおこなう予定である。一例として、視程距離の数値化がある。視程計などで計測した現地の視程を吹雪時の白い色濃度で観察し、これを風洞内の色濃度と相似性を合わせ、風洞内の視程距離を数値化する。これが成功すると、現地の視程計測は不要となり、現地の動画のみで視程距離を導き出すことができる。防雪柵設置前後の数値を比較しその効果が確認できるため、効率的な防雪柵設置を検討することが可能となる。

同社のこのような取り組みには多方面から関心が寄せられ、様々な視察等が行われている。一例として、昨年8月には千歳科学技術大学の学生がインターンシップにて風洞実験装置による研究開発を擬似体験した。本年1月には北海道放送の情報番組「今日ドキッ！」で地吹雪模様を再現している実験現場が紹介され、6月には佐呂間土木技術者協会が視察に訪れた。さらに9月には釧路建設業者15社程度による大規模な視察も予定されている。

同社ではより多くの方々に関心を持って頂こうと、風洞実験室を一般公開することとした。これまでは外部公開されていなかった模型雪回収装置（バックフィルター）が見学可能となり、実験用模型の展示室も増設された。見学者は設備の全体を観察し、また長年実験に使用されてきた数々の模型を間近で観察することができる。

見学を希望される方は、事前に同社まで電話連絡を。電話（0134）62—0033まで。